

第31回日本排尿機能学会

2024.9/5(木)～9/7(土)
会場 ビッグパレットふくしま (郡山市南2丁目52)

医療法人正勝会
常磐腎ひ尿器クリニック
理事長 胡口正秀
いわき市常磐下船岡町古内292-6 TEL.0246-43-1200

腎・泌尿器科
クリニックさかがみ
院長 坂上善成
福島市丸子字町頭20-13 TEL.(024)563-6911



あたたかい心とたしかな医療 **総合医療センター**

福島県東支庁 地域がん診療連携拠点病院 会津磐梯山国庫3階27号
TEL.0242(27-5511)(FD)
一柳町法人 竹田健康財団 HP: http://www.takeda.or.jp

球

もちろん、排尿機能に関する講演、シンポジウム、ワークショップなども多く企画し、医療・医学のさらなる発展に貢献できるような医師一同、誠心誠意準備する所存です。

何卒多くの皆様のご支援を賜りますよう心からお願いを申し上げます。

この度、2024年9月5～7日の3日間、第31回日本排尿機能学会をビッグパレットふくしまで開催させていただきます。このような栄誉ある機会をいただきましたこと、会員の皆様より御礼申し上げます。

ところで皆さん、「今年の漢字」をご存知でしょうか？1995年から開始された、その年1年間に起きた



第31回日本排尿機能学会
会長 小島 祥 敬
福島県立医科大学 医学部
泌尿器科 講座 教授

できごとを漢字1文字で表現するという企画で、毎年京都清水寺の森清龍興主が揮毫されております。「絆(きずな)」は東日本大震災が起きた2011年の今年の漢字です。

本学会のメインテーマを「絆(きずな)」といたしました。2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。福島県は大地震と津波

ごあいさつ

◆ 今回の学会では、こころの安や、超少子高齢化、人口減少、東京一極集中時代の女性が増える日本の成長戦略、救急医失格、福島第1原子力発電所事故に対応した医療者の考え、感じたこと、など多様な演題で講演が行われます。研修企画や教育セミナーも展開し、研究者たちが研究の成果発表、情報交換を図ります。

のみならず、東京電力福島第1原子力発電所事故に見舞われました。

本学会では、排尿機能に関する学術的討論はもちろんですが、その最大の目的は、大震災および原発事故の当時の状況やその後の復興の姿を全国から集まる会員の皆様と共有していただき、現在福島県が苦しんでいる風化・風評被害への対策を図ることです。さらに、医師・看護師・メディカルスタッフの絆、サブ学会との絆、ダイバーシティ社会における絆、基礎研究者と臨床医の絆、原発事故における人と人の絆、など、「絆」をテーマとし、人の温かみや優しさを共有したいと考えております。今回のボスターに書かれた「絆」の文字は、本学会のために清水寺の森清龍興主に揮毫いただきました。

一般社団法人
福島市医師会
千九六〇八〇〇 会長 横田 崇
福島市香取町十番 一 福島市医師会センター内
TEL.024(2541-2191)
FAX.024(2541-2190)
WEB: http://www.fukushima-med.or.jp

医療法人
大森中央内科外科クリニック
理事長 横田 崇
福島市大森字町七丁目
TEL.024(2546-2111)
FAX.024(2546-2112)
TEL.024(2546-2113)

十福島赤十字病院
院長 鈴木 恭一
福島市八町町七丁目
TEL.024(2533-6101)

社会福祉法人 済生会 済生会福島県済生会
済生会福島総合病院
院長 星野 豊
福島市大森字下原田二丁目
TEL.024(2545-5171)

公立相馬総合病院
院長 八巻 英郎
相馬市新町字ケ道二丁目
TEL.024(243-6101)